



テクニカル・メッセージ

トラック・バス用 ホイールの点検整備のお願い

アルミ製ホイール、スチール製ホイールは塩分・泥等が付着すると腐食しやすくなります。また、タイヤに湿潤エアを充填すると、走行時にエアが高温になった後、車両停止時に温度が低下することで、タイヤ内部で結露が生じ、腐食の原因となります。腐食するとホイールの強度が低下するため、そのままの状態で使用を続けると、エア漏れやタイヤのバーストを引き起こす可能性があります。お車を安全に使用していただくためにも、ホイールの点検・整備を実施していただくようお願い致します。

■ 対象車両

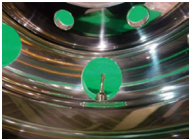

トラック、バス全車

■ 点検・整備について

- ・エア漏れがないか必ずエアゲージで空気圧を点検してください。
- ・凍結防止剤を散布した道路、海岸地帯を運行した後は、塩分や泥等を除去するためによく洗浄してください。
- ・タイヤローテーション、タイヤ交換などのホイール脱着をおこなう際は、温水による高圧洗浄でホイール全体をよく洗浄し、乾かしてから使用してください。
- ・タイヤエア充填の際は、ドライヤ付のコンプレッサによる乾燥エアの充填をおこなってください。

| | 点検・整備内容 |
|-----------------|---|
| 日常点検 | エアゲージでタイヤ(スペアタイヤを含む全輪)の空気圧を点検してください。 |
| 運行後 | 凍結防止剤を散布した道路、海岸地帯を運行した後はホイールに付着した塩分、泥等を除去する為、よく洗浄してください。 |
| 3ヶ月後 | リム、サイドリングおよびディスクホイールの損傷有無を点検してください。ホイール交換の目安は下表を参照してください。 |
| タイヤのローテーション・交換時 | <p>タイヤローテーション、タイヤ交換などのホイール脱着をおこなう際は、温水による高圧洗浄でホイール全体(外面・内面・タイヤ面)およびバルブ付近に付着した塩分や泥等をよく洗浄して乾かしてください。ホイール交換の目安は下表を参照ください。</p>  |

■ ホイール交換の目安

| | アルミ製ホイール | スチール製ホイール | 交換要否 |
|----------|--|--|--------------|
| 正常の場合 |  全面にアルミの光沢あり |  錆の発生がない | ○ 交換不要です |
| 腐食している場合 |  白錆・点錆あり |  赤錆 | × 交換が必要です |

- ・詳細はメンテナンスノート、取扱説明書、整備解説書、ホイールメーカーの資料を参照ください。
- ・メンテナンスノート等の内容でご不明な点がありましたら、最寄の日野販売会社まで問い合わせください。